

市政の最近のできごとを紹介します。



2,500人が実践！全市で防災訓練

震度6強の地震が発生した想定で、全市の防災訓練を実施しました。開設した182カ所の避難所には約2,500人が集合。避難者の受付訓練や段ボールベッドの組み立てなどを通して、防災意識を高めました。(8月30日)



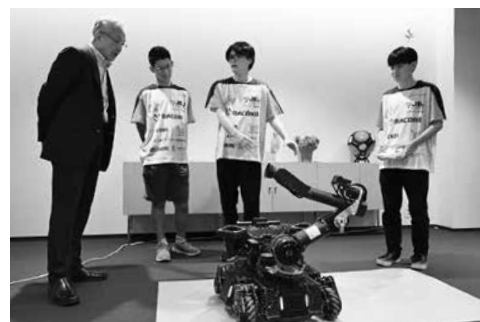
プロと市民が織り成す新作劇を上演

長岡リリックホールの開館30周年を記念し、新作音楽劇「RATS 猫も食わないから騒ぎ」を上演しました。2日間で768人が来場。オーディションで選ばれた市民23人は、プロの俳優と共に堂々と熱演しました。(8月22日・23日)



桂小、最後のオープンガーデン

来年3月に閉校する桂小学校で、最後のオープンガーデンを前に花壇の整備を行いました。60年以上受け継がれてきた同校の花活動。全校児童25人が協力して作業し、約50種類の植物が校庭を彩りました。(9月11日)



市内学生チームが国際大会で初優勝

長岡を拠点に活動する学生のロボット競技チーム「Phoenix Robots」が、米国で開かれた大会で優勝しました。国際大会への挑戦は4度目。悲願の初制覇を果たしたメンバーは、その喜びを市長に報告しました。(8月27日)



自分らしさ考えるツアー、初開催

女子中高生が地域で活躍する先輩と交流する「みらいコーディネートツアー」を行いました。参加した13人は、女性リーダーやインフルエンサーらの多様な考えに触れ、自分らしい生き方への思いを膨らませました。(8月20日・21日)



初実施！マンホールふたで企業PR

企業広告がデザインされたマンホールふたを、ミライエ長岡前の歩道に設置しました。下水道のイメージアップと維持管理の財源確保が目的で、市内での設置は初めてとなります。(9月17日) [第2弾の募集を開始！25ページへ](#)



海牛ミョウシーとは？

中越大震災の復旧工事中に化石で発見された海牛です。愛称「ミョウシー」は、発掘された場所・妙見町にちなんで付けられました。さいわいプラザでは、全長8mの実物大模型(写真)が来館者をお出迎えています。

企画展「海牛ミョウシー2026」

10/10(土)～12/27(日)

実物化石などの未公開資料を多数展示します。

時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)

場所：さいわいプラザ 岡科学博物館 ☎32・0546

休館日：10月19日(月)、11月2日(月)・16日(月)、12月7日(月)・21日(月)

★記念講演会「ミョウシーをよみがえらせる 古生物復元の仕事」
ミョウシーの造形を担当した恐竜・古生物復元模型作家の徳川広和さんが講演します。

日時：11月22日(日)14:00～15:00

場所：ミライエ長岡

対象：中・高校生(保護者同伴可)

定員：40人(先着)

申込：10月22日(休)から専用フォーム(右)で



海牛化石発見
20周年

はるか昔の長岡へ タイムトリップしよう！

火焰土器発見
90周年

二つの貴重な博物館資料が今年、発見から節目を迎えます。
記念イベントに参加して、長岡の歩みをのぞいてみましょう。

火焰土器発見90周年祭 10/17(土)・18(日)

期間中は入館料が無料になります。

場所・馬高縄文館 ☎46・0601

開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)

17日(土)▶記念特別展「掘り出された火焰土器」展示解説会(時間：14:00～15:00 対象：小学生以上(小学生は保護者同伴) 定員：30人(先着) 申込：10月10日(土)～16日(金)に電話で)

▶関原小学校6年生が制作した土器のライトアップ(時間：17:00～18:30 場所：馬高縄文館前)

▶火焰土器ナイトミュージアムfor kids(時間：17:00～17:30、18:00～18:30 対象：小・中学生と保護者 定員：各10組(先着) 持ち物：懐中電灯 申込：10月10日(土)～16日(金)に電話で)

18日(日)▶故・小林達雄さんへの長岡市表彰の授与《check》、俳句コンテスト表彰式(時間：13:00～14:00) ▶土器焼き見学(時間：10:00～13:00) ▶馬高マルシェ・縄文体験(時間：11:00～15:00 内容：キッチンカー、ワークショップ、弓矢体験など)

関連イベント

①特別展開連講座「現代に生きる火焰土器—モニュメントと縄文の思想」

日時：10月31日(土)14:00～15:30

講師：県立歴史博物館学芸課長・宮尾亨さん 定員：30人(先着)

②火炎土器の破片クッキー(クルミ・ゴマ)をつくろう！

日時：10月25日(日)10:00～12:00 定員：10人(先着)

持ち物：エプロン、三角巾、マスクなど

①②いずれも 対象：小学生以上(小学生は保護者同伴)

申込：10月10日(土)～22日(木)に電話で(①は28日(水)まで)

※参加すると当日の入館料が無料になります



詳細はこちら



火焰土器とは？

実物大のレプリカ

1936年12月31日に馬高遺跡で出土した国の重要文化財。炎のような造形が特徴です。「火焰土器」の名前が付くのはこの時に見つかった1点のみで、その他の同じ形状の土器は火焰型土器と呼びます。



《check》

イギリスで講演する小林さん

小林達雄さんは、昨年8月に亡くなった長岡出身の考古学者で、縄文研究の第一人者として知られています。英国・大英博物館への火焰型土器の展示を実現させるなど、長岡の縄文文化を広く発信した功績をたたえ、市表彰が決まりました。